

●海軍兵進級規則

大正九年五月一日
達第八十號

改正

大正九年第一〇五號、第一四三號、一二年第三五號、第一三九號、一二年第一六七號、一三年第六二號、第一一九號、一四年第九四號、昭和四年第四號、六年第八號、八年第三八號、九年第四六號、一〇年第一〇二號、一一年第一二六號、第一六一號、一二年第一一五號、一三年第一二二號、一四年第一七三號、第二〇六號、一五年第二七號、第二〇四號、一六年第一一號、第七一號、第七一號、第三七二號、第三九五號、一七年第五〇號、第二三七號、一八年第一五七號、一九年第六二號、第一四八號、第二六四號、第三五七號、二〇年第一六號

海軍兵進級規則左ノ通定ム

海軍兵進級規則

第一條 海軍兵ノ進級ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本則ニ依ル

第二條 海軍兵ノ進級ハ特ニ定ムルモノノ外級ヲ逐ヒ職階ヲ歴

進セシム

第三條 二等兵(練習兵、補充兵及第二國民兵ヲ除ク)ハ所定ノ

新兵教程ヲ終ヘタルトキ所轄長之ヲ一等兵ニ進級セシム

練習兵タルニ等兵ハ同期入團ノ他ノ志願兵(練習生採用豫定者トシテ新兵修業期間ヲ特ニ短縮セラレタル者ヲ除ク)ト同時期ニ、同期入團者在ラサルトキハ最近新兵教程ヲ終ヘタル者(練習生採用豫定者トシテ新兵修業期間ヲ特ニ短縮セラレタル者ヲ除ク)ト同一期間ヲ經過シタルトキ所轄長之ヲ一等兵ニ進級セシム

第十類 任用 進級 増俸

〔海四十二〕 諸二ノ九三

充員召集中ノ補充兵及第二國民兵タルニ等兵ハ別ニ定ムル期間ヲ經過シタルトキ、教育召集中ノ補充兵タルニ等兵ハ教育召集解除ノ際夫々所轄長之ヲ一等兵ニ進級セシム

第四條 上等兵及一等兵ハ特ニ定ムルモノノ外進級ニ必要ナル

實役停年以上ノ者ニシテ進級試験ニ合格シタルモノニ非サレハ進級セシムルコトヲ得ス

戰時又ハ事變ノ際ハ進級試験ニ依ラス進級セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ海軍大臣之ヲ告達ス

進級試験ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第四條ノ二 甲種飛行豫科練習生又ハ乙種飛行豫科練習生(乙

種飛行豫科練習生(特)ヲ含ム以下之ニ同ジ)タル飛行兵及乙種飛行豫科練習生出身ノ飛行兵ハ第三條、第四條、第五條、第六條ノ二及第八條乃至第十三條ノ規定ニ拘ラス左ノ各號ニ依リ所轄長之ヲ進級セシム

一 甲種飛行豫科練習生タル飛行兵ハ入隊後一月ヲ經過シタルトキ一等飛行兵ニ、三月ヲ經過シタルトキ上等飛行兵ニ、六月ヲ經過シタルトキ飛行兵長ニ進級セシム

二 乙種飛行豫科練習生タル飛行兵及同出身ノ飛行兵ハ入隊

後二月ヲ經過シタルトキ一等飛行兵ニ、七月ヲ經過シタルトキ上等飛行兵ニ、一年ヲ經過シタルトキ飛行兵長ニ進級セシム

前項ノ場合ニ於テ延期修業ノ爲次期編入ト爲リタル者ノ其ノ後ノ進級ハ新ニ編入セラレタル期ノ者ト同一トス同期練習生ヲ數回ニ區分修業セシムルトキ延期修業ノ爲次回以後ノ修業ト爲リタル者ニ付亦之ニ準ズ但シ特別ノ事由アル者ハ所屬長官ノ認許ヲ得テ適宜ノ日ニ進級セシムルコトヲ得

第四條ノ三 師範學校ヲ卒業シ國民學校ノ教職ニ就クノ資格ヲ有スル現役兵ニ在リテハ第三條、第四條、第五條及第八條乃至第十三條ノ規定ニ拘ラス入團後一月半ヲ經過シタルトキ一等兵ニ、三月半ヲ經過シタルトキ上等兵ニ、七月ヲ經過シタルトキ兵長ニ所轄長之ヲ進級セシム但シ第六條ノ二第一項ノ規定ニ依リ經過期間ヲ延長シ進級セシメタル者ニ在リテハ爾後ノ進級ニ付亦同期間之ヲ延長スルモノトス

第五條 上等兵及一等兵ノ進級ニ必要ナル實役停年ヲ八月トス戰時又ハ事變ノ際ハ前項ノ停年ヲ半減スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ海軍大臣之ヲ告達ス

第六條 實役停年ノ算定ニ付テハ海軍武官進級令ヲ準用ス

第六條ノ二 海軍兵ノ進級ニ必要ナル經過期間ヲ定メアル場合ニ於テ現職階中ノ除算日數(海軍武官進級令第九條ノ規定ニ準シ計算スルモノトス)一月以上(月ノ端日數ハ切捨ツ)アル者ハ除算日數ニ相當スル期間其ノ經過期間又ハ新兵修業期間等ヲ延長シ進級セシム勤務ノ成績不良、艦船部隊内ニ於ケル長期ノ療養其ノ他ノ事由ニ依リ所轄長特ニ進級ノ延期ヲ至當ト認メタル者ニ付亦之ニ準ズ

所轄長ハ前項ノ規定ニ依リ進級ヲ延期シタル者アルトキハ其ノ事由ヲ在籍ノ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ニ報告スヘシ

第六條ノ三 海軍兵ノ進級ニ必要ナル經過期間ヲ定メアル場合ニ於テ補缺採用其ノ他ノ事由ニ依リ十日以内其ノ期間ニ滿タル者ハ之ヲ短縮シ進級セシムルコトヲ得

第七條 海軍兵ニシテ他ノ科ニ轉ゼシメタル者ハ其ノ日ニ於テ轉ゼシメタル科ノ同職階ノ兵トス此ノ場合ニ於テ實役停年ハ前後之ヲ通算スルモノトス

第八條 上等兵及一等兵ノ實役停年計算期ハ二月末日及八月三

千一日トス

第九條 所轄長ハ三月一日及九月一日現在ノ部下上等兵及一等

兵ニシテ進級ニ必要ナル實役停年ヲ有シ進級試験ニ合格シタル者ニ勤務評點ヲ付與シ此ノ評點ト試験成績、性格、技能、品行等トヲ參酌シテ兵進級決定候補名簿ヲ調製シ第三項ノ區

分ニ依ル候補者ノ員數ヲ三月十五日及九月十五日迄ニ在籍ノ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ニ報告スヘシ

勤務評點ハ海軍武官任用進級取扱規則第十五條ヲ準用シテ付

與スルモノトス

兵進級決定候補名簿ハ在籍ノ鎮守府又ハ警備府及兵種職階毎

ニ各別紙ニ調製スルノ外兵長ニ進級セシムヘキ者ニ在リテハ現職階ニ進級後次期進級期日迄ノ經過日數一年ノ者、一年六月ノ者及二年以上ノ者ニ區分スルモノトス

第十條 前條ノ決定候補名簿ハ其ノ調製ノ時ヨリ次回調製ノ時迄效力ヲ有スルモノトス

第十一條 上等兵及一等兵ノ進級期ヲ五月一日及十一月一日ト

ス但シ特別ノ事由ニ依リ期日ヲ變更シ又ハ臨時ニ進級ヲ行フトキハ海軍大臣其ノ期日ヲ告達ス

トキハ海軍大臣其ノ期日ヲ告達ス

第十類 任用 進級 増俸

第十二條 鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ハ左ノ各號ニ依

リ各其ノ鎮守府又ハ警備府ニ於ケル兵進級員數ヲ定メ之ヲ所轄長ニ告達スヘシ

一 上等兵ヨリ兵長ニ進級セシムヘキ員數ハ第九條第三項ニ定ムル經過日數ノ區分ニ依ル各候補者員數ニ對シ一年ノ者

ニ在リテハ其ノ百分ノ三十五以內、一年六月ノ者ニ在リテハ其ノ百分ノ七十以內、二年以上ノ者ニ在リテハ其ノ百分

ノ百以內

二 一等兵ヨリ上等兵ニ進級セシムヘキ員數ハ候補者員數ノ百分ノ百以內

第十三條 所轄長ハ前條ノ告達員數以內ニ於テ兵進級決定候補

名簿ノ順序ニ依リ現在所屬ノ如何ニ關セス進級セシム但シ所屬ヲ變更シタル者ニ在リテハ新所轄長ニ之ヲ移牒スルモノトス

第十四條 進級ニ必要ナル實役停年ヲ有スル者ニシテ兵進級決

定候補名簿調製期前一月内ニ所屬ヲ變更シタルトキハ舊調製官ハ部下ニ在リシ間ノ勤務評點ヲ付與シ之ヲ新調製官ニ移牒

スヘシ

第十五條 兵進級決定候補名簿ニ登載シタル者其ノ所屬ヲ變更シタルトキハ舊調製官ヨリ新調製官ニ該名簿ニ登載シタル旨ヲ通知スヘシ

第十六條 進級ニ必要ナル實役停年ヲ有スル者ニシテ兵進級決定候補名簿ニ登載セサリシモノ該名簿調製期日後ニ於テ其ノ所屬ヲ變更シタルトキハ舊調製官ヨリ新調製官ニ該名簿ニ登載セサリシ事由ヲ通知スヘシ

第十七條 所屬長ハ第九條ノ期日後新ニ部下ニ入り且進級ニ必要ナル實役停年ヲ有スルモノニシテ進級セシムヘカラサル事由ヲ生シタルトキハ之ヲ進級決定候補名簿ヲ調製シタル所轄長ニ通知スヘシ

所轄長ハ兵進級決定候補名簿ニ登載ノ後ニ於テ進級セシムヘカラサル事由ヲ生シタル者アルトキハ該名簿ヨリ之ヲ除キ其ノ員數ヲ在籍ノ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ニ報告スヘシ

第十八條 兵ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ定期ニ拘ラス所屬長官ノ認許ヲ得テ所轄長ニ於テ其ノ際特ニ之ヲ二階級迄進級セシムルコトヲ得但シ第一號、第二號ヲ適用スヘキ場合

ハ海軍大臣之ヲ告達ス

一 敵前ニ在リテ殊勳ヲ奏シ首將之ヲ全軍ニ布告シタル者
二 戰時又ハ事變ノ際殊勳ヲ奏シタル者又ハ勳功顯著ナル者ニシテ其ノ戰時又ハ事變中傷痕、疾病ノ爲危篤ニ陥リタルモノ

三 拔群ナル勇敢ノ行爲アリ功績顯著ニシテ軍人ノ龜鑑トシテ海軍大臣之ヲ海軍全般ニ布告シタル者

第十九條 戰時又ハ事變ノ際人員缺乏シ軍事上必要アルトキハ所轄長ハ所屬長官ノ認許ヲ得テ第四條、第九條、第十一條、第十二條及第十三條ノ規定ニ拘ラス部下ノ兵ヲ特ニ進級セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ海軍大臣之ヲ告達ス

第二十條 召集中ノ兵ノ實役停年ニ關シテハ現役中及召集中ノモノヲ通算ス

第二十一條 現役兵ニシテ現職階中殊勳ヲ奏シ若ハ勳功顯著ナル者又ハ進級ニ必要ナル實役停年ヲ有シ功績アル者、甲種若ハ乙種飛行豫科練習生タル飛行兵、乙種飛行豫科練習生出身ノ飛行兵ニシテ現職階ニ進級後六月ヲ經過シタル者又ハ二等兵ニシテ新兵修業期間三月ヲ經過シタル者ハ現役ヲ退ク際又

ハ歸休ヲ命スル際特ニ之ヲ進級セシムルコトヲ得

現役兵ニシテ傷痍、疾病ノ爲危篤ニ陥リタル者ハ其ノ際特ニ之ヲ進級セシムルコトヲ得但シ現職階中殊勳ヲ奏シ又ハ勳功顯著ナル者ハ特ニ二階級進級セシムルコトヲ得

第二十二條 召集中ノ兵ニシテ功績顯著ナル者又ハ進級ニ必要ナル實役停年ヲ有シ功績アル者ハ召集中若ハ召集ヲ解ク際特ニ之ヲ進級セシムルコトヲ得

召集中ノ二等兵ニシテ召集期間三月ヲ經過シタルモノハ召集ヲ解ク際特ニ之ヲ進級セシムルコトヲ得

召集中ノ兵ニシテ傷痍、疾病ノ爲危篤ニ陥リタル者ハ其ノ際特ニ之ヲ進級セシムルコトヲ得但シ現職階中殊勳ヲ奏シ又ハ勳功顯著ナル者ハ特ニ二階級迄進級セシムルコトヲ得

第二十二條ノ二 在郷ノ兵ニシテ軍事ニ關シ拔群ノ功績アル者ハ特ニ之ヲ進級セシムルコトヲ得

第二十二條ノ三 危篤ニ陥リタル際、第十八條、第二十一條第二項、第二十二條第三項又ハ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタル者ニ對シテハ其ノ死歿ノ後ト雖モ特ニ危篤ニ陥リタル時ニ遡リテ之ヲ進級セシムルコトヲ得

第二十三條 所轄長ハ現役滿期、現役免除、兵役免除、歸休又

ハ召集解除ノ爲在籍ノ鎮守府又ハ警備府所屬ノ海兵團ニ入團セシムル部下等兵以下ニシテ第二十一條第一項又ハ第二十二條第一項及第二項ノ規定ニ該當スト認ムル者アルトキハ其ノ旨海兵團長ニ通知スヘシ但シ海兵團ニ入團セシメス直ニ歸郷セシムルトキハ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ニ具申シ認許ヲ得テ進級セシムヘシ

海兵團長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ部下ニシテ前項ノ規定ニ該當スト認ムル者ト共ニ之ヲ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ニ具申シ認許ヲ得テ進級セシムヘシ

第二十四條 所轄長ハ部下等兵以下ニシテ傷痍、疾病ノ爲危篤ニ陥リ第二十一條第二項又ハ第二十二條第三項ノ規定ニ該當スト認ムル者アルトキハ所屬長官ノ認許ヲ得テ進級セシムヘシ但シ公務ニ因ル傷痍、疾病ノ爲危篤ニ陥リタル者ニシテ進級ニ必要ナル實役停年ヲ有スルモノヲ一階級上級ノ職階ニ進級セシムル場合ニ於テハ所屬長官ノ認許ヲ要セザルモノトス

第二十四條ノ二 所轄長兵ノ進級ヲ行ヒタルトキハ速ニ在籍ノ

鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ニ報告（特殊進級ニ在リテハ事由ヲ詳記ス）スヘシ

第二十五條 艦隊司令長官ノ幕僚タル副官並艦隊司令官及戰隊

司令官ノ幕僚タル首席參謀ハ各其ノ司令部附兵ニ對シ所轄長ニ準シ進級ニ關スルコトヲ取扱フヘシ

附則

海軍卒進級規則ハ之ヲ廢止ス

附則（昭和十一年達第百二十六號）

昭和九年入隊シタル豫科練習生タル航空兵ハ第四條ノ二ノ規定ニ拘ラス昭和十二年五月一日一等級航空兵ニ所轄長之ヲ進級セシム

昭和十年入隊シタル豫科練習生タル航空兵ノ第四條ノ二ノ規定ニ依ル進級ハ仍從前ノ例ニ依ル

附則（昭和十一年達第百六十一號）

本達中第九條及第十二條第一項第一號ノ改正規定ハ昭和十二年九月一日ヨリ之ヲ適用ス

附則（昭和十四年達第百七十三號）

本達中第四條ノ二第一號ノ改正規定ハ昭和十五年入隊ノ者ヨ

リ、同條第二號ノ改正規定ハ昭和十三年入隊シタル者ヨリ之ヲ適用ス

附則（昭和十九年達第百六十四號）

本達中第四條ノ二ノ改正規定ニ依リ進級ニ必要ナル期間ヲ經過スルニ至リタル者ハ昭和十九年八月十六日其ノ上級ニ進級セシムルモノトス

附則（昭和十九年達第百五十七號）

本達ノ改正ニ依リ進級ニ必要ナル期間ヲ經過スルニ至リタル者ハ昭和十九年十一月一日之ヲ進級セシムルモノトス

附則（昭和二十年達第百十六號）

本達ノ改正ニ依リ進級ニ必要ナル期間ヲ經過スルニ至リタル者ハ昭和二十年二月一日之ヲ進級セシム